

北方四島交流訪問事業についてよくある質問

Q. どのような服装で行けばいいですか。

A. 動きやすい服装がいいでしょう。スーツに革靴などはお勧めしません。北方四島内の道路は、近年一部舗装路もできましたが、未舗装の部分がほとんどです。島内の移動は、車によるものがほとんどですが、雨天時などは、ぬかるんだところを歩くこともあります。また、島内日程で温泉を訪れる場合は、水着をご用意ください。

Q. 北方四島の天候について教えてください。

A. 四島の天候や気温については、北海道根室市の天気予報が参考になるでしょう。島内の天候は霧がかかることが多く、夏場でも朝晩はかなり冷え込むので、雨具や防寒着は必須です。

Q. 事前研修会・結団式が行われる北方四島交流センター（ニ・ホ・ロ）には、どのように行けばいいですか。

A. 事前研修会・結団式当日、根室市内の千島会館前から無料送迎バスが出ます。ご利用の方は出発時間までに千島会館にお越しください。出発時間等は事前送付資料でお知らせいたします。
(千島会館：根室市大正町2-12)

Q. 船は揺れますか。

A. 海上の状況によります。ただ、択捉島訪問時に通過する国後水道は海流の影響でかなり揺れることが多いです。いずれにしても、船酔いが心配な方は酔い止め薬を持参したほうがよいでしょう。

Q. 船内や国後島の「友好の家」には、タオルやドライヤーなどはありますか。

A. バスタオル、フェイスタオル、ドライヤー等は船内、「友好の家」共にありませんので、各自で用意してください。また、船内の浴室にはリンスインシャンプーとボディソープはありますが、「友好の家」にはこれらもありませんので、各自で用意してください。

Q. 時差はありますか。

A. 日本本土と北方四島の間には2時間の時差があります。(四島側が2時間早い)しかし、訪問団員の皆様には、船内及び島内における行程、連絡事項等すべて日本時間でお伝えします。

Q. 島内のトイレ事情はどうですか。

A. 日本本土のように街中に利用できるトイレはありません。島内での行動中は、食事や住民交流会等の会場のトイレをご利用ください。また、トイレトペーパーを流すと配管が詰まる恐れがあるため、使用したトイレトペーパーは個室内のくずかごに捨ててください。

Q. 島内にはどんなお店がありますか。

A. 北方四島には大きなスーパーやデパートはなく、小さな商店が中心です。食料品、飲料、酒類、チョコレートやスナック等の菓子類、衣類、日用品、玩具などが売っています。

Q. 島内でマトリョーシカ等の民芸品を買うことはできますか。

A. マトリョーシカやホフロマ塗り等を扱うお店はありますが、品揃えは豊富ではありません。ただし、国後島古釜布の博物館ではマトリョーシカ等のお土産を購入することができ、品揃えも比較的豊富です。

Q. 荷物はスーツケースで持っていても大丈夫ですか。

A. ほとんどの方が車輪付きのスーツケースを使用されています。ただ、島内での視察や交流会等の際は、必要最小限の荷物を持って移動するために小さなバッグ（リュックサック等）が必要です。

※国後島では島内の「友好の家」に宿泊するのでスーツケース等含め全ての荷物を持って下船します。択捉島、色丹島では船内泊なので、スーツケース等は船内に残し、必要な荷物だけを持って下船します。

Q. 船内や島内で日本本土で使用している電気製品は使えますか。

A. 船内及び国後島の「友好の家」は電圧100Vなので、普段使用している電気製品がそのままお使いいただけます。

Q. 宿泊は個室ですか。

A. 船内及び国後島の「友好の家」では、個室はなく基本的に相部屋となります。部屋割りは、事前研修会でお配りする資料でお知らせいたします。

Q. ホームビジットはどのように行われるのですか。

A. 少人数のグループに分かれて、それぞれ現地の家庭を訪れます。現地家庭での滞在時間は2時間程度です。お互いの家族や生活等について自然な話題で交流してください。通訳が各家庭を巡回しますが、通訳がないときの話題づくりとして、写真や趣味に関するものなど視覚に訴えるものを持参するとよいでしょう。

Q. ホームビジットでは料理やお酒は出てきますか。

A. ホームビジットは昼食や夕食を兼ねて行われます。家庭では、食べきれないほどの料理やお酒でもてなしてくださいますが、食べ残しても失礼にあたりませんので、くれぐれも食べ過ぎ飲み過ぎにはご注意ください。

Q. ホームビジット家庭へのお土産は必要ですか。

A. 事務局で各家庭へのお土産を用意いたしますが、団員の皆様もご自身でお土産をご用意されるとよいでしょう。なお、受入家庭の家族構成等は、四島側からの情報提供により極力事前に団員の皆様にお伝えできるよう努めますが、訪問直前になる場合もございます。予め御了承ください。

Q. お土産はどんなものを持っていけばよいでしょうか。

A. 高価なものは必要ありません。お菓子や置き物、キーホルダーなど年齢、性別に関わらずあげられるものがよいでしょう。ホームビジットで訪れた家庭以外でも、ドライバー（島内での移動は3～4人の団員で1台の車に乗ります）などにお土産を渡す方もいらっしゃいます。
なお、ハンカチは贈り物としては好まれない（「涙を呼ぶ」として縁起が悪い）ので、避けたほうがよいでしょう。

Q. 私たちが発言の際に注意しなければならないことはありますか。

A. 北方領土がロシアの領土であることを前提とするような発言やそれを暗示する表現は避けてください。あくまでも「北方領土は我が国固有の領土である」ということを前提に発言するようにお願いいたします。

例）（根室半島と北方四島の間）	× 「国境」	⇒ ○ 「中間点（中間ライン）」
（北方四島への出入り）	× 「入国・出国」	⇒ ○ 「入域・出域」
（自己紹介などの際）	× 「日本から来ました」	⇒ ○ 「（市町村名）から来ました」
（相手への呼びかけ）	× 「ロシアの皆さん」	⇒ ○ 「〇〇島の皆さん」

Q. 島内で購入したものや四島在住ロシア人にいただいたものには関税がかかりますか。

A. 買ったもの、もらったものに関わらず日本国税関の免税範囲を超えたものには課税されます。酒類、たばこ、その他の項目ごとに免税範囲が定められており、その範囲を超えたものについては課税対象となります。各項目の免税範囲は以下のとおりです。

- ・酒類 総容量 2,280ml まで
- ・たばこ 200本（1カートン）まで
- ・その他の物品 島内市価の合計額 20万円（日本円換算）まで

※ただし、20歳未満の方は、酒類とたばこの免税範囲はありません（つまり、少量でも酒類やたばこがあれば課税対象となります）

Q. 北方四島から根室に持ち込んではいけないものはありますか。

A. 土や砂の付着している植物類及び石、肉類（ソーセージやサラミ等の加工品を含む）は検疫の観点から根室に持ち込むことができません。また、一部のくだもの（りんご、なし等）、一部の野菜（トマト、じゃがいも、パプリカ等）も持ち込み禁止です。これらのものを島内で購入したり、もらったりした場合は島内か船内で消費してください。